

2019年4月吉日

日本小児内分泌学会の評議員の皆様へ

「副腎ホルモン産生異常症に関する保険未記載の臨床検査に関する 全国調査」へのご協力をお願い

謹啓

早春の候、皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

副腎疾患の適切な診療には、臨床検査による正確な診断や病態の把握が不可欠です。しかし、一部の臨床検査は、必要性が高いにもかかわらず本邦では保険未記載となっております。そこで、厚生労働省「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」(研究代表者:長谷川奉延)において、本邦の「副腎ホルモン産生異常症に関する保険未記載の臨床検査」の実態を把握するため、全国調査を実施することに致しました。

皆様には、本アンケート調査に御協力を賜りたく御連絡を差し上げます。御多忙のところ恐縮ですが、次頁の調査票にご記入頂き、**2019年4月30日までにwordファイルをメール添付でadrenaltest@gmail.comへ提出頂けますようお願い申し上げます。**なお、本調査は、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認を受けており、大藺恵一理事長の承認のもとで日本小児内分泌学会性分化・副腎疾患委員会と共同で行っております。日本内分泌学会評議員の先生方にも同様のお願いをしており、日本内分泌学会からの御案内で、本調査にご回答頂いている場合には、今回のご回答は結構です。皆様の貴重な回答をお待ちしております。ご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

謹白

■本アンケートの概要は以下のとおりです

- 検査項目ごとに、対象疾患が示されています
- 検査項目ごとに、「臨床的な必要度(=診断に必要だと思いますか?)」について、以下の7つの選択肢から、一つを選んで、数字をご記入下さい
 1. 非常にそう思う
 2. そう思う
 3. ややそう思う
 4. どちらともいえない
 5. あまりそう思わない
 6. そう思わない
 7. 全くそう思わない
- 検査項目ごとに、最近5年間(2014年1月1日~2018年12月31日)に、貴施設における、対象疾患の新規患者の診療の有無をお答え下さい
- 今回の4つの検査項目は、本邦ないし欧米の診療ガイドラインで推奨されています
- 二次調査の予定はありません

副腎ホルモン産生異常に関する調査研究班

「副腎ホルモン産生異常症に関する保険未収載の臨床検査 に関する全国調査」

① 17 α -ヒドロキシprogesteron(17-OHP)

対象疾患：21-水酸化酵素欠損症

臨床的な必要度：（ ）

新規患者の診療：（ ）あり （ ）なし

② 尿ステロイドプロフィール(ガスクロマトグラフ質量分析-選択的イオンモニタリング法)

対象疾患：先天性副腎皮質酵素欠損症および先天性副腎低形成症

臨床的な必要度：（ ）

新規患者の診療：（ ）あり （ ）なし

③ 抗副腎皮質抗体

対象疾患：特発性アジソン病

臨床的な必要度：（ ）

新規患者の診療：（ ）あり （ ）なし

④ 唾液コルチゾール

対象疾患：クッシング症候群

臨床的な必要度：（ ）

新規患者の診療：（ ）あり （ ）なし

ご所属：_____

お名前：_____